



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 ステラケミファ株式会社  
 コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 亜希

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

定時株主総会開催予定日 2020年6月19日

配当支払開始予定日

2020年6月3日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	33,729	12.1	2,407	31.7	2,307	39.4	1,924	18.2
2019年3月期	38,384	14.2	3,523	48.7	3,810	116.9	2,350	84.4

(注) 包括利益 2020年3月期 1,462百万円 (25.4%) 2019年3月期 1,958百万円 (57.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	149.00		5.8	4.2	7.1
2019年3月期	182.06		7.3	7.1	9.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 29百万円 2019年3月期 238百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	53,216	34,729	64.0	2,635.50
2019年3月期	55,454	33,918	59.2	2,541.77

(参考) 自己資本 2020年3月期 34,033百万円 2019年3月期 32,821百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	5,036	3,173	715	13,291
2019年3月期	7,345	3,532	321	12,158

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		20.00		25.00	45.00	585	24.7	1.8
2020年3月期		22.00		23.00	45.00	585	30.2	1.7
2021年3月期(予想)		22.00		23.00	45.00		41.5	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	1.3	1,900	21.1	1,950	15.5	1,400	27.2	108.41

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	13,213,248 株	2019年3月期	13,213,248 株
期末自己株式数	2020年3月期	299,667 株	2019年3月期	300,267 株
期中平均株式数	2020年3月期	12,913,392 株	2019年3月期	12,913,047 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	21,373	23.6	2,555	14.7	2,665	24.7	2,036	11.3
2019年3月期	27,964	11.0	2,997	63.9	3,541	122.1	2,295	121.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	157.71	
2019年3月期	177.80	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	38,352		26,184		68.2		2,025.05	
2019年3月期	39,638		24,731		62.4		1,914.54	

(参考) 自己資本 2020年3月期 26,150百万円 2019年3月期 24,722百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済情勢は、国内における景況感は製造業を中心に慎重な見方が続き、米中貿易摩擦の長期化、国内での相次ぐ自然災害の影響や、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当連結会計年度の業績におきましては、半導体市場が活況であった前連結会計年度に比べ、米中貿易摩擦や韓国向け輸出管理の運用の見直しなどを背景に半導体液晶部門の輸出販売が減少したことにより、売上高は337億29百万円（前期比12.1%減）となりました。

利益面におきましては、主要原材料の無水フッ酸価格が前連結会計年度に比べ低下したものの、売上高減少の影響により、営業利益は24億7百万円（同31.7%減）となりました。また、原材料購入における為替リスクのヘッジを目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、前連結会計年度末に計上したデリバティブ評価益3億5百万円が、当連結会計年度末では3百万円と縮小したことにより、経常利益は23億7百万円（同39.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は19億24百万円（同18.2%減）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大について、現時点の当社グループ各拠点における生産、販売体制に大きな影響はなく、当連結会計年度における業績への影響も軽微に留まっています。

#### <高純度薬品>

高純度薬品事業につきましては、前連結会計年度と比較して半導体液晶部門および電池部門の販売が減少した結果、売上高は290億58百万円（前期比14.0%減）となりました。

利益面では、半導体液晶部門の輸出販売が減少したことによる稼働低下が影響し、営業利益は28億97百万円（同23.4%減）となりました。

なお、主要な部門別の売上高については次のとおりです。

#### [半導体液晶部門]

半導体用の高純度フッ化物の出荷量が減少した結果、売上高は156億87百万円（同21.9%減）となりました。

#### [電池部門]

リチウムイオン二次電池用電解質の出荷量減少およびリチウム二次電池用添加剤の販売単価が低下した結果、売上高は25億76百万円（同29.0%減）となりました。

#### <運輸>

運輸事業につきましては、運送関連等の取扱量が前連結会計年度を上回った結果、売上高は44億29百万円（前期比1.1%増）となりました。

利益面では、韓国向けの取扱量減少および減価償却費の増加等により、営業利益は5億2百万円（同30.9%減）となりました。

#### <メディカル>

メディカル事業につきましては、前連結会計年度に引き続き、がん治療法であるホウ素中性子捕捉療法（BNCT）で用いる医薬品に係る研究開発費を計上した結果、営業損失は10億35百万円（前期は10億51百万円の営業損失）となりました。

#### <その他>

その他事業につきましては、保険代理業収入等が前期を上回った結果、売上高は2億41百万円（前期比7.0%増）、営業利益は36百万円（同14.2%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて25億96百万円(8.4%)減少し、282億61百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が4億53百万円、受取手形及び売掛金が15億41百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億58百万円(1.5%)増加し、249億55百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が4億65百万円、無形固定資産が89百万円増加し、投資その他の資産が1億97百万円減少したことによります。

この結果、総資産は532億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億38百万円減少しました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて32億14百万円(25.4%)減少し、94億27百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が8億84百万円、設備関係支払手形が6億6百万円、未払法人税等が10億83百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億66百万円(1.9%)増加し、90億59百万円となりました。主な要因は、リース債務が1億67百万円増加し、長期借入金が1億1百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、184億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億48百万円減少しました。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産は347億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億10百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が12億45百万円増加し、非支配株主持分が4億26百万円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は64.0%(前連結会計年度末は59.2%)となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて11億33百万円増加し、当連結会計年度末は132億91百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果得られた資金は50億36百万円(前期比23億9百万円収入減少)となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益22億40百万円、減価償却費32億36百万円、売上債権の減少14億90百万円、仕入債務の減少8億24百万円、未払消費税等の減少1億66百万円、法人税等の支払額18億23百万円などです。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果使用した資金は、31億73百万円(同3億58百万円支出減少)となりました。

主な内訳は、定期預金の払戻による収入20億34百万円、有形固定資産の取得による支出45億47百万円、無形固定資産の取得による支出1億1百万円などです。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は7億15百万円(同3億93百万円支出増加)となりました。

主な内訳は、長期借入れによる収入39億円、長期借入金の返済による支出39億66百万円、配当金の支払額6億10百万円などです。

## (4) 今後の見通し

次期の連結業績見通しについて、売上高は333億円（当期比1.3%減）を見込んでいます。

損益面におきましては、主力事業である半導体液晶部門の販売が底堅く推移する見通しですが、主要原材料である無水フッ酸の価格は2019年度比で上昇すると想定し、営業利益19億円（当期比21.1%減）、経常利益19億50百万円（当期比15.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益14億円（当期比27.2%減）を見込んでいます。

なお、下記の業績見通しは、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期の予測が困難な中で、現時点において当社が把握している情報に基づき算出しています。

現時点における事業への影響は限定的ではあるものの、今後の感染拡大状況等による事業環境の変化により、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示します。

## &lt;当社グループの連結業績見通し&gt;

	業績予想	当期実績	対当期比
	百万円	百万円	%
売上高	33,300	33,729	△1.3
営業利益	1,900	2,407	△21.1
経常利益	1,950	2,307	△15.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,400	1,924	△27.2

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しています。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,044	13,591
受取手形及び売掛金	9,678	8,137
商品及び製品	2,903	2,438
仕掛品	1,547	1,591
原材料及び貯蔵品	1,732	1,465
その他	970	1,054
貸倒引当金	△20	△17
流動資産合計	30,857	28,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,042	19,073
減価償却累計額	△12,055	△12,399
建物及び構築物（純額）	6,987	6,673
機械装置及び運搬具	31,076	30,628
減価償却累計額	△25,033	△25,300
機械装置及び運搬具（純額）	6,043	5,327
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	2,016	3,365
リース資産	—	149
その他	7,965	8,147
減価償却累計額	△6,150	△6,336
その他（純額）	1,814	1,811
有形固定資産合計	22,329	22,794
無形固定資産		
その他	565	655
無形固定資産合計	565	655
投資その他の資産		
投資有価証券	604	716
繰延税金資産	338	397
その他	777	390
貸倒引当金	△17	—
投資その他の資産合計	1,702	1,505
固定資産合計	24,596	24,955
資産合計	55,454	53,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,012	2,128
短期借入金	1,930	1,920
1年内返済予定の長期借入金	2,281	2,316
未払金	1,550	1,182
未払法人税等	1,186	102
賞与引当金	376	368
役員賞与引当金	—	54
設備関係支払手形	1,323	716
その他	981	638
流動負債合計	12,642	9,427
固定負債		
長期借入金	6,857	6,755
退職給付に係る負債	845	898
役員退職慰労引当金	561	586
資産除去債務	507	560
その他	122	258
固定負債合計	8,893	9,059
負債合計	21,536	18,487
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	7,152	7,152
利益剰余金	21,098	22,344
自己株式	△496	△495
株主資本合計	32,585	33,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	23
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	203	168
その他の包括利益累計額合計	236	201
新株予約権	8	34
非支配株主持分	1,088	661
純資産合計	33,918	34,729
負債純資産合計	55,454	53,216



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	38,384	33,729
売上原価	30,452	27,044
売上総利益	7,931	6,685
販売費及び一般管理費	4,408	4,278
営業利益	3,523	2,407
営業外収益		
受取利息	21	18
受取配当金	2	3
デリバティブ評価益	305	3
為替差益	72	—
受取地代家賃	4	4
設備賃貸料	14	13
その他の事業収入	13	13
その他	152	77
営業外収益合計	588	133
営業外費用		
支払利息	40	39
為替差損	—	76
持分法による投資損失	238	29
保険解約損	—	32
その他	22	55
営業外費用合計	301	233
経常利益	3,810	2,307
特別利益		
固定資産売却益	17	42
その他	0	—
特別利益合計	18	42
特別損失		
固定資産廃棄損	151	108
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	151	109
税金等調整前当期純利益	3,676	2,240
法人税、住民税及び事業税	1,559	784
法人税等調整額	△97	△57
法人税等合計	1,462	726
当期純利益	2,214	1,513
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△136	△410
親会社株主に帰属する当期純利益	2,350	1,924

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,214	1,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△9
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	△194	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	△60	16
その他の包括利益合計	△255	△51
包括利益	1,958	1,462
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,122	1,889
非支配株主に係る包括利益	△163	△426

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,829	7,152	19,281	△495	30,768
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,829	7,152	19,281	△495	30,768
当期変動額					
剰余金の配当			△533		△533
親会社株主に帰属する当期純利益			2,350		2,350
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,817	△0	1,817
当期末残高	4,829	7,152	21,098	△496	32,585

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	33	—	431	464	—	1,252	32,485
会計方針の変更による累積的影響額							—
会計方針の変更を反映した当期首残高	33	—	431	464	—	1,252	32,485
当期変動額							
剰余金の配当							△533
親会社株主に帰属する当期純利益							2,350
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△0	—	△227	△228	8	△163	△383
当期変動額合計	△0	—	△227	△228	8	△163	1,433
当期末残高	32	—	203	236	8	1,088	33,918

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,829	7,152	21,098	△496	32,585
会計方針の変更による累積的影響額			△66		△66
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,829	7,152	21,032	△496	32,518
当期変動額					
剰余金の配当			△611		△611
親会社株主に帰属する当期純利益			1,924		1,924
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分				1	1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,312	1	1,313
当期末残高	4,829	7,152	22,344	△495	33,832

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	32	—	203	236	8	1,088	33,918
会計方針の変更による累積的影響額							△66
会計方針の変更を反映した当期首残高	32	—	203	236	8	1,088	33,852
当期変動額							
剰余金の配当							△611
親会社株主に帰属する当期純利益							1,924
自己株式の取得							—
自己株式の処分							1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△9	8	△34	△35	25	△426	△436
当期変動額合計	△9	8	△34	△35	25	△426	877
当期末残高	23	8	168	201	34	661	34,729

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,676	2,240
減価償却費	3,253	3,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△20
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	54
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	35	53
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21	25
受取利息及び受取配当金	△24	△21
支払利息	40	39
有形固定資産除売却損益 (△は益)	134	66
デリバティブ評価損益 (△は益)	△305	△3
持分法による投資損益 (△は益)	238	29
為替差損益 (△は益)	217	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	△52	1,490
たな卸資産の増減額 (△は増加)	163	663
仕入債務の増減額 (△は減少)	562	△824
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△274	322
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	18	△289
未収消費税等の増減額 (△は増加)	76	△8
未払消費税等の増減額 (△は減少)	394	△166
その他	112	12
小計	8,254	6,877
利息及び配当金の受取額	24	21
利息の支払額	△40	△38
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△892	△1,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,345	5,036
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△410	△453
定期預金の払戻による収入	374	2,034
有形固定資産の取得による支出	△2,993	△4,547
有形固定資産の売却による収入	19	61
無形固定資産の取得による支出	△432	△101
投資有価証券の取得による支出	△1	△123
資産除去債務の履行による支出	△40	△20
その他の支出	△151	△91
その他の収入	105	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,532	△3,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70	△10
長期借入れによる収入	3,400	3,900
長期借入金の返済による支出	△3,258	△3,966
リース債務の返済による支出	—	△28
配当金の支払額	△532	△610
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321	△715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△264	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,227	1,133
現金及び現金同等物の期首残高	8,930	12,158
現金及び現金同等物の期末残高	12,158	13,291

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に計上しています。

この結果、当連結会計年度末の「有形固定資産」の「リース資産」が132百万円増加し、流動負債の「その他」が22百万円および固定負債の「その他」が151百万円増加しています。

当連結会計年度の連結損益計算書および1株当たり情報に与える影響は軽微です。

当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高が66百万円減少しています。

当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローが28百万円増加し、財務活動によるキャッシュ・フローが同額減少しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、取締役会、経営会議において、当社グループ全体を包括的に把握し、各子会社ごとの報告を基礎とした各事業別の戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社は、事業別のセグメントから構成されており、「高純度薬品事業」、「運輸事業」、「メディカル事業」の3つを報告セグメントとしています。

「高純度薬品事業」は、高純度薬品の製造、販売を行っています。「運輸事業」は、化学薬品等の輸送、保管および通関業務などを行っています。「メディカル事業」は、医薬品の研究を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,776	4,382	—	38,158	225	38,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,550	—	3,550	191	3,742
計	33,776	7,932	—	41,709	417	42,126
セグメント利益又は損失 (△)	3,782	726	△1,051	3,457	42	3,499
セグメント資産	43,000	9,251	3,287	55,539	206	55,746
その他の項目						
減価償却費	2,501	524	226	3,252	1	3,253
持分法適用会社への 投資額	489	—	—	489	—	489
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	3,658	762	14	4,435	0	4,435

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,058	4,429	—	33,488	241	33,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,856	—	2,856	207	3,063
計	29,058	7,286	—	36,344	448	36,793
セグメント利益又は損失 (△)	2,897	502	△1,035	2,364	36	2,400
セグメント資産	41,486	9,476	2,252	53,215	237	53,452
その他の項目						
減価償却費	2,542	568	125	3,235	0	3,236
持分法適用会社への 投資額	586	—	—	586	—	586
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	3,116	544	33	3,694	0	3,694

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。



## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	41,709	36,344
「その他」の区分の売上高	417	448
セグメント間取引消去	△3,742	△3,063
連結財務諸表の売上高	38,384	33,729

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,457	2,364
「その他」の区分の利益	42	36
セグメント間取引消去	23	7
連結財務諸表の営業利益	3,523	2,407

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	55,539	53,215
「その他」の区分の資産	206	237
全社資産(注)	59	49
その他の調整額	△350	△285
連結財務諸表の資産合計	55,454	53,216

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の長期投資資金(投資有価証券および会員権)です。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,541円77銭	1株当たり純資産額	2,635円50銭
1株当たり当期純利益	182円06銭	1株当たり当期純利益	149円00銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定に用いられた当連結会計年度末の普通株式および1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数については、自己名義所有株式分を控除する他、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(当連結会計年度末98,900株、期中平均株式数99,089株)を控除して算定しています。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	33,918	34,729
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,096	695
(うち新株予約権(百万円))	(8)	(34)
(うち非支配株主持分(百万円))	(1,088)	(661)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	32,821	34,033
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	12,912	12,913

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,350	1,924
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,350	1,924
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,913	12,913

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。